

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管

一般医療機器

カテーテルコネクタ 32339000

JMS Yジョイント

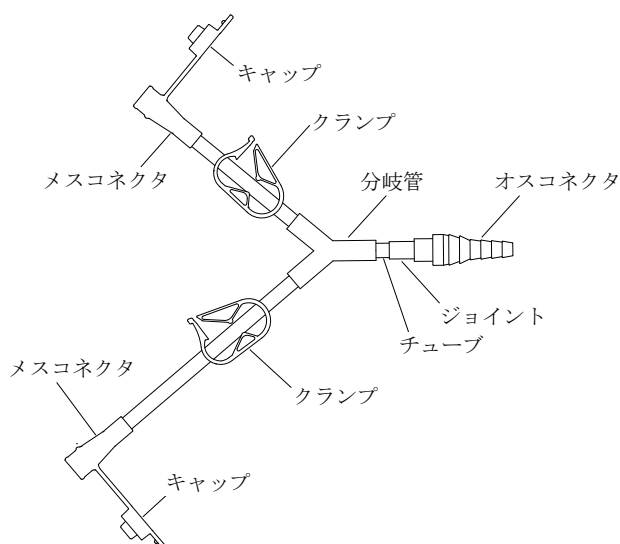
再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図（代表図）〉



〈原材料〉

構成部品	原材料
オスコネクタ	ポリ塩化ビニル※1
ジョイント	ポリ塩化ビニル※1
チューブ	ポリ塩化ビニル※2
分岐管	ポリ塩化ビニル※2
メスコネクタ	ポリ塩化ビニル※2

・ ポリ塩化ビニルに使用している可塑剤は以下のとおり。

※1 フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）

※2 トリメリット酸トリ（2-エチルヘキシル）

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	50kPa
引張強度	15N

〈原理〉

本品は、メスコネクタに接続した機器等により、本品とオスコネクタに接続した泌尿器用カテーテル又は胃食道用カテーテル（以下「カテーテル」という。）を介して体内から流体を吸引するとともに、体内に流体を注入するために使用する。

本品の流路は、オスコネクタからメスコネクタに向かって 2 つの流路に分岐しているため、クランプ操作により流向を制御することが可能である。

【使用目的又は効果】

カテーテルをバッグ等に接続するために用いる。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 一方のクランプ及びメスコネクタのキャップを完全に閉めます。
3. もう一方のメスコネクタをバッグ等のオスコネクタに確実に接続します。
4. 本品のオスコネクタをカテーテルに確実に接続します。
5. もう一方のメスコネクタを使用する場合はキャップを開け、注入器等を接続し、クランプを開けて吸引等の操作をします。操作後はクランプを完全に閉め、注入器等を外しメスコネクタのキャップを完全に閉めます。

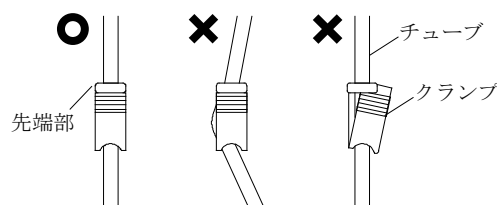
〈組み合わせて使用する医療機器〉

オスコネクタに接続する機器

販売名	認証番号
JMS 胃管カテーテル	21400BZZ00341000
JMS ネラトンカテーテル	16100BZZ00949000

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
2. 他の医療機器を接続する際は、外れないように確実に行うこと。また、過度なかん合をしないこと。[コネクタが外れないおそれがある。]
3. コネクタのテーパ部に排液等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]
4. クランプを閉じる場合は、クランプ先端部をまっすぐ押すこと。[斜めに押した場合やクランプ先端部以外の箇所を押した場合、チューブが完全に閉塞しないおそれがある。]



5. クランプを使用した場合は、排液等の再開時にクランプ部分のチューブの閉塞、変形に注意すること。
6. 鉗子及びクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
7. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端でクランプすると、チューブが破損し液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]
2. 使用中は本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等引っ掛かることがないように注意すること。[チューブの閉塞、外れ又は構成品の破損の原因となる。]
3. 使用中は本品の破損及び閉塞、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。

4. 本品を 60℃以上の温度にさらさないこと。[変形やチューブ接合部からの液漏れ、外れ等が生じるおそれがある。]
5. 本品は可塑剤であるフタル酸ジ（2－エチルヘキシル）が溶出するおそれがある。

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、固着、外れ、緩み、詰まり、破損、変形

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年〔自己認証（当社データ）による〕

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 0120-923-107